

第1章

- 1 渡辺正 (2007) 元素大百科事典、33、亜鉛、35、水銀、43、鉛、東京：朝倉書店、pp422-444、518-528
United Nations Environment Programme, Chemicals and waste, UNEP's activities on lead and cadmium, <https://www.unenvironment.org/explore-topics/chemicals-waste/what-we-do/emergng-issues/lead-and-cadmium>
- 2 UNEP (2019) Global Mercury Assessment 2018. 3. Mercury emission to air. Geneva : United Nations Environment Programme, pp10-19
- 3 渡辺正 (2007) 元素大百科事典、4、地球化学、東京：朝倉書店、pp45-55
ハイランダー (2008) 水銀の利用を続けるのか、それとも中止するのか、水銀の功罪についての歴史的考察、訳：佐竹・中津、地球環境 (13)、pp151-166
UNEP (2012) Reducing Mercury Use in Artisanal and Small-scale Gold Mining. A Practical Guide. Mercury use in detail. Nairobi : United Nations Environment Programme, pp14-19
- 4 UNEP (2017) Global Mercury Supply, Demand and Trade. Global, regional and sectoral consumption of mercury. Geneva : United Nations Environment Programme, pp44-63
木原諄二ほか編 (1999) 金属の百科事典、青化学、灰吹法、東京：丸善、p401、527
渡辺正 (2007) 元素大百科事典、5、金、6、銀、東京：朝倉書店、pp56-76
総山孝雄 (1953) 成形充填、アマルガム編、東京：永末書店、pp27-51
木原諄二ほか編 (1999) 金属の百科事典、アマルガム、東京：丸善、p193
渡辺正 (2007) 元素大百科事典、35、水銀、東京：朝倉書店、pp438-444
飯高一郎 (1967) 金属と合金、5、水銀およびアマルガム、岩波全書、東京：岩波書店、pp201-204
山本伊勢雄 (1956) イトムカ鉱山大町精錬所の概要、日本鉱業会誌 (72) 822、東京：資源・素材学会
- 5
- 6
- 7 David J. St. Clair (1994) New Almaden and California Quicksilver in the Pacific Rim Economy. California History (73) 4, Oakland : University of California Press, pp278-295
関礼子 (1998) 環境危機への技術的対応、水銀をめぐる技術転換・北海道イトムカ鉱業所の試み、技術と人間 27 (2)、東京：技術と人間、pp11-25
UNEP (2019) Global Mercury Assessment 2018. 2. Understanding the global mercury cycle. Geneva : United Nations Environment Programme, pp6-9
UNECE (2015) Updated handbook for the 1979 Convention on Long-range Transboundary Air Pollution and its Protocols. Geneva, p11
清水誠、土井陸雄 (1973) トムロの水銀蓄積—ローネの実態、生物・医学的意義、科学 43 (6)、東京：岩波書店、pp357-362
- 8 Rawls, James J., and Richard J. Orsi, editors (1999) A Golden State: Mining and Economic Development in Gold Rush California. 2-Making Old Tools Work Better: Pragmatic -Adaptation and Innovation in Gold-Rush Technology. Berkeley : University of California Press, pp20-47, <http://ark.cdlib.org/ark:/13030/tf758007r3/>
- 9 Fisher, J. Jacob, D. Soerensen, A. 颯 (2012) Riverine source of Arctic Ocean mercury inferred from atmospheric observations. Nature Geoscience 5 (7), London : Nature Pub. Group, pp499-504
Ornst, D., Agnan, Y., Jiskra, M. 颯 (2017) Tundra uptake of atmospheric elemental mercury drives Arctic mercury pollution. Nature 547 (7662), Tokyo : Springer Nature Asia-Pacific, pp201-204
Paul F. Schuster, Kevin M. Schaefer, George R. Aiken, 颯 (2018) Permafrost stores a globally significant amount of mercury. Geophysical Research Letters (45) 3, United States : American Geophysical Union, pp1463-1471
- 10 国立水俣病総合研究センター、小規模金属水銀漏出時の緊急対応マニュアル (パンフレット)、http://nind.env.go.jp/docs/emergency_manual_jpn.pdf

11 環境省 (2016) 水銀含有農薬眠っていませんか。(リーフレット)。
http://www.env.go.jp/recycle/waste/mercury-disposal/h2803_guide4.pdf
山浦弘之、八尋秀典 (2016) 活性炭を利用した水銀処理の開発動向。『フラインクミカル』(7)、東京:
シーエムシー出版、pp14-19
山田淳也、川崎緑、大塚町恵、金田英伯 (2016) 原油・天然ガス生産における水銀への対応、石油技術協
会誌81(5)、東京:石油技術協会、pp401-407

第2章

1 渡辺正 (2007) 元素大百科事典、35・水銀、東京:朝倉書店、pp438-444
日本化学会 (1977) 環境汚染物質シリーズ、水銀、2用途とその変遷、丸善、東京、pp111-121
橋本毅彦、梶雅範、廣野喜幸訳 (2005) 科学大博物館:装置・器具の歴史事典、温度計、東京:朝倉書
店、pp72-75
環境省 (2017) 水銀による環境の汚染の防止に関する法律、水銀対策のさらなる推進に向けて(パン
フレム) http://www.env.go.jp/chemi/fnms/suigin_leaflet_law.pdf
平凡社 (1988) 炎色反応、世界大百科事典3、インーエン、東京:平凡社、p718
Willey J. Masschelein、海賀信好訳 (2004) 紫外線による水処理と衛生管理、2・利用可能なランプ技術、
東京:技法堂出版、pp11-57
乾昭文、山本充義、川口芳弘 (2013) 電気機器技術史:事始めから現在まで、東京:成文堂、pp122-129
田内亮彦、藤岡純、峯山智行 (2015) 産業分野の多様な用途に対応した紫外線ランプ及び紫外線LEDモ
ジュールの最新技術(特集あかりから広がる総合ソリューション技術)、東芝レビュー70(11)、東京:
東芝研究開発統括部、pp20-24
3 電池便覧編集委員会 (2001) 電池便覧第3版、一次電池、東京:丸善、pp136-138
電気化学会電池技術委員会 (2010) 電池ハンドブック、電池の歴史、東京:オーム社、pp2-6
石原顕光 (2015) 触媒能を表すパラメータ、トコトンやさしい電気化学の本、東京:日刊工業新聞社、

4 pp150-151
日本化学会 (1977) 環境汚染物質シリーズ、水銀、2用途とその変遷、東京:丸善、pp111-121
浮田忠之進 (1965) 水銀と生体・水銀の利用と中毒について、化学20(7)、東京:化学同人、pp23-29
株田高士、山下仁、江川雅人、山田信之、鍋田理恵、宮本俊和、濱田淳、形井秀一 (2001) 鍼灸の安全性
に関する和文文献(8)―水銀塗布・内臓直刺―、全日本鍼灸学会雑誌51(2)、東京:全日本鍼灸学会、pp47-
58、

5 日本公衆衛生協会 (2001) 水銀汚染対策マニュアル、第1章総論、東京:日本公衆衛生協会、pp3-19
環境省 (2016) 医療機関に退職される水銀血圧計等回収マニュアル、http://www.env.go.jp/recycle/waste/mercury-disposal/h2803_guide1.pdf
小学館 (1985) 伊勢白粉、日本大百科全書2、ビーエヌエフ、東京:小学館、pp316-317
WHO (1999) Environmental Health Criteria 118, Inorganic Mercury. <http://www.inchem.org/documents/ehc/ehc/ehc118.htm>
WHO. Mercury in skin lightening products. http://www.who.int/ipcs/assessment/public_health/mercury_flyer.pdf?ua=1
US Food & Drug Administration (2019). Prohibited & restricted ingredients in cosmetics. <https://www.fda.gov/cosmetics/cosmetics-laws-regulations/prohibited-restricted-ingredients-cosmetics>
6 小学館 (1985) ガイヌラー管、日本大百科全書4 (おおこーかき)、東京:小学館、pp625-626
乾昭文、山本充義、川口芳弘 (2013) 電気機器技術史:事始めから現在まで、東京:成文堂、pp122-129
電気設備技術史編纂委員会 (2013) 電気設備技術史、6・電灯・コンセント設備、東京:電気設備学会、
pp156-159
日本照明工業会 (2019) 自動車用電球ガイドブック第6版、2自動車用電球の原理と構造、4自動車用電

7 球の特性、東京:日本照明工業会、pp5-15
高島芳弘、辰砂の精製、徳島県立博物館、<http://www.museum.tokushima.ac.ed.jp/cc/51.htm>
石野亨 (1968) 奈良東大寺大仏の塗金、古仏像の表面処理にこころ、金属表面技術現場パンフレット

Branch and WHO Department of Food Safety, Zoonoses and Foodborne Diseases, Geneva, pp44-46

早川水俣病総合研究センター (2014) 水銀と健康, 第5・1版 (パンフレット)

8 早川直, 早川智 (2018) 梅毒の疫学: 歴史と現在の遺伝子解析から (特集実は増えている「梅毒」, 臨床研究62 (2)), 東京: 医学書院, pp162-167

Infectious diseases at the Edward Worth Library, Treatment of Syphilis in Early Modern Europe, Dublin: Edward Worth Library, <https://infectiousdiseases.edwardworthlibrary.ie/syphilis/treatment/>
宗田一 (1965) 日本製薬技術史の研究, 第三節駆梅用洋法水銀剤の製造, 日本医史学雑誌11 (3), 東京: 日本医史学会, pp81-104

9 厚生労働省「毒物劇物の安全対策」 <http://www.mhlw.go.jp/mhlw/chemical/doku/dokuidex.html>

環境省 (2018) 廃棄物となった水銀 (廃水銀等) に対する新たな最終処分方法が規定されました。東京: 環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課 (パンフレット) https://www.env.go.jp/recycle/13003_guidel.pdf

10 安永玄太, 藤瀬良弘 (2002) 鯨類研究における環境毒性学という分野ー水銀研究を例にー, 鯨研通信413, 東京: 日本鯨類研究所, pp1-8

坂本峰至 (2015) セレンによるメチル水銀毒性抑制及びセレンと水銀のヒトや海洋生物での存在形態に関する研究, 国立水俣病総合研究センター年報第35号平成26年度, 水俣: 国立水俣病総合研究センター, pp123-127

11 環境省 (2013) 水俣病の教訓と日本の水銀対策, 水俣病の発生と拡大, 東京: 環境省, pp2-5

日本公衆衛生協会 (2001) 水銀汚染対策マニュアル, 第1章総論 第7節中毒の病態と症状ならびに治療, 東京: 日本公衆衛生協会, pp10-13

第4章

1 小幡重一, 海老原要 (1914) 電気抵抗原器の製作, 研究報告第4号, 電気試験所第一部, pp1-6

国立研究開発法人産業技術総合研究所計量標準総合センター, 基本単位の標準 (電気) <https://unit.aist.go.jp/ann/j/library/units/electric/>

日本化学会 (1993) 化学便覧基礎編2改訂4版, 12・2標準電極電位, 東京: 丸善, pp464-474
国立研究開発法人産業技術総合研究所計量標準総合センター, 圧力真空標準研究グループ, 校正装置, <https://unit.aist.go.jp/riem/pv-std/standards.html>
河村泰樹 (2020) 水銀の三重点の代替となる温度定点の開発に関する調査研究, 計量標準報告10 (2), <https://unit.aist.go.jp/riem/pv-std/standards.html>
くくば: 産業技術総合研究所, pp299-314

2 大鹿謙, 金野正 (1968) 量子力学第1 (共立物理学講座: 第14), 1. 量子力学の形成, 東京: 共立出版, pp1-14

矢沢潔 (2009) 自然界をゆるがす「臨界点」の謎, 宇宙・生命・物質のすがたはこうして一変する, 第7章超流動・超伝導・超臨界の臨界点, 東京: 技術評論社, pp137-168

Neo Takashita, Ayako Yamamoto, Akira Iyo, and Hiroshi Eisaki (2013) Zero Resistivity above 150 K in HgBa₂Ca₂Cu₃O₈+, [arXiv:1308.1114](https://arxiv.org/abs/1308.1114)

High Pressure, Journal of the Physical Society of Japan 82 (2), Tokyo: The Physical Society of Japan, pp023711-1-4
田村剛三郎, 乾雅祝 (1999) 超臨界金属流体の構造研究ー膨張する水銀ー, Spring-8利用者情報 (5), 日本: 高輝度光科学研究センター, pp38-42

3 赤外線技術研究会編 (1991) 赤外線工学: 基礎と応用, 6章赤外線センサ, 東京: オーム社, pp115-154
国立天文台, すばる望遠鏡, すばる望遠鏡の観測装置, <https://subaru.ulelescope.org/jp/about/instrument/>

4 香取秀俊 (2018) 実用デバイスへと進化する光格子時計, パリティ = Parity: 物理科学雑誌33 (10), 東京: 丸善出版, pp6-12

洪鋒雷 (2018) 新しい秒の定義へのロードマップ, パリティ = Parity: 物理科学雑誌33 (10), 東京: 丸善出版, pp28-32

5 矢沢潔 (2009) 自然界をゆるがす「臨界点」の謎, 宇宙・生命・物質のすがたはこうして一変する, 第2

- 章生物大絶滅の臨界点。東京：技術評論社。pp29-48
- David S. Jones, Anna M. Martini, David A. Fike, Kunio Kaiho (2017) A volcanic trigger for the Late Ordovician mass extinction? Mercury data from south China and Laurentia. *Geology* (45) 7, Boulder, Colo. : Geological Society of America. pp631-634
- 野田徹郎 (1982) 金線による気体水銀の捕捉とその地熱探査への応用。日本地熱学会誌 (3) 3。東京：日本地熱学会。pp149-163
- 羽賀勝洋、粉川広行、浦井隆、花野耕平、二川正敏 (2008) J-Parc水銀ターゲットシステムの完成ー概要とレビュー。FAPIG No.177。東京：第一原子力タービン事務局。pp12-17
- Hickson, Paul, Lanzetta, Kenneth (2004) Large Aperture Mirror Array (LAMA) - project overview. Proceedings of SPIE 5382 - July 2004, Bellingham, Wash., USA : SPIE-the International Society for Optical Engineering. pp115-125
- Daniel Clery (2019) Moon gazing. *Science* (365) 6450, Washington, D.C. : American Association for the Advancement of Science. pp234-237
- Borra, E., Seddiki, O., Angel, R. et al. (2007) Deposition of metal films on an ionic liquid as a basis for a lunar telescope. *Nature* (447), London : Nature Research. pp979-981
- 濱幸雄、阿波稔、新大軌 (2018) コンクリートの凍害メカニズムと気泡の役割・制御 (特集ブレイクスルーのための材料研究：劣化メカニズム)。コンクリート工学56(5)。東京：日本コンクリート工学会 pp431-435
- 日本非破壊検査協会編 (2010) 新コンクリートの非破壊試験。Ⅲ-8 コンクリート組織の試験方法、東京：技報堂出版。pp112-132
- 考古学ジャーナル編集委員会編 (1998) 特集考古資料としての赤色顔料。月刊考古学ジャーナル (438)。東京：ニュー・サイエンス社。pp1-31
- 南武志、河野摩耶、古川登、高橋和也、武内章記、今津節生 (2013) 硫黄同位体分析による西日本日本海沿岸の弥生時代後期から古墳時代の墳墓における朱の産地同定の試み。地球科学 (4)。東京：日本地球化学会。pp237-243
- 熊谷寛夫 (1983) 真空の物理と応用、第1章真空とは何か、東京：裳華房。pp1-26
- 日本真空学会 (2018) 真空科学ハンドブック、0 真空科学・技術の歴史。東京：コロナ社。pp1-7
- 橋本毅彦、梶雅範、廣野喜幸訳 (2005) 科学大博物館：装置・器具の歴史事典、気圧計。東京：朝倉書店。pp135-138
- Bridget A. Bergquist, Joel D. Blum (2007) Mass-Dependent and -Independent Fractionation of Hg Isotopes by Photoreduction in Aquatic Systems. *Science* Vol. 318, Issue 5849, 19 Oct 2007, Washington, D.C. : American Association for the Advancement of Science. pp417-420
- 日本環境化学会編著 (2019) 地球をめぐる不都合な物質。第3章水俣病だけではない「世界をめぐる水銀」。東京：講談社。pp88-116
- ## 第5章
- Brenner, Erich (2014) Human body preservation-old and new techniques. *Journal of Anatomy* 224, Anatomical Society, New Jersey : Wiley. pp316-344
 - 蒲池明弘 (2018) 邪馬台国は「朱の王国」だった。文春新書1177。東京：文芸春秋。pp111-164
 - 鈴木尚、矢島恭介、山辺知行編 (1967) 増上寺徳川將軍墓とその遺品・遺体。東京：東京大学出版会。pp28-120
 - 鶴田榮一 (2002) 顔料の歴史。色材協会誌75(4)。東京：色材協会。pp189-199
 - ホルベイン工業技術部 (1997) 絵具材料ハンドブック。東京：中央公論美術出版。pp16-80
 - 橋時政敏 (1990) 示温塗料・塗装工学25(3)。東京：日本塗装技術協会。pp124-128
 - 山本洋一 (1973) 日本と世界における防錆防食の歴史：金属の生産と使用を含めて。第1巻。東京：表面処理ジャーナル社。pp13-40
 - 桶谷繁雄 (1965) 奈良の大仏はいかにして造られたか。金属35(12)(449)。東京：アグネ技術センター。pp89-95

- 4 田中久夫 (1988) 金銀島日本(シリーズ・につぼん草子)、第四章朱砂の需要?水銀鉱山をもとめて?、東京:弘文堂 pp51-66
- 5 吉元昭治 (2009) 日本全国神話・伝説の旅、朱・水銀(空海とも関わりも)、東京:勉誠出版、pp118-1129
- 6 松田壽男 (2005) 古代の朱、五 日本のミイラ、ちくま文芸文庫、東京:筑摩書房、pp62-74
- 7 都築洋次郎 (2012) 世界科学・技術史年表、II 中世からルネサンス期(8世紀~16世紀)、東京:日本図書センター、pp36-44
- 8 道野鶴松 (1967) 古代金属文化史:その化学的研究、第6章古代中国の金属、東京:朝倉書店、pp106-108
- 9 勢和村史編集委員会編 (1999) 勢和村史通史編、第二章古代・中世の勢和、第二節鎌倉時代の勢和、三重県:勢和村、pp125-138
- 10 野田只夫 (1957) 伊勢白粉座と軽粉株、日本歴史(105)、東京:吉川弘文館、pp15-21
- 11 宗田一 (1965) 日本製薬技術史の研究、第四節朱の製造、東京:薬事日報社、pp42-53
- 12 母利美和 (1989) 井伊家伝来の大名美術「3」井伊の赤備えと甲州武田遺臣、日本美術工芸(606)、大阪:日本美術工芸社、pp72-76
- 13 中村達夫 (1970) 彦根藩朱具足と井伊家の軍制、彦根:八光社、pp56-82
- 14 ICOMOS (2012) Evaluations of Nominations of Cultural and Mixed Properties to the World Heritage List, ICOMOS Report for the World Heritage Committee, 36th ordinary session, Saint-Petersburg, June-July 2012, WHC-12/36.COM/INF-8B1, Paris: UNESCO, pp339-352
- 15 近藤川三 (2011) トナンアメリカ銀と近世資本主義、大津:行路社、pp93-103
- 16 Stockport Metropolitan Borough Council, Hat Works, Exploring the museum, 5, Research facilities, It made them mad, <https://www.stockport.gov.uk/exploring-the-museum/research-facilities>
- 17 日本公衆衛生協会 (2001) 水銀汚染対策マニュアル、第一章総論、東京:日本公衆衛生協会、pp3-19
- 18 UNEP (2017) Global Mercury Supply, Demand and Trade, United Nations Environment Programme,

- 9 Global, regional and sectoral consumption of mercury, Geneva: United Nations Environment Programme, pp44-63
- 10 Sebastião Salgado, Léila, Wanick Salgado, Alan Riding (2019) Sebastião Salgado Gold, Serra Pelada gold mine, Cologne, Germany: Taschen GmbH, pp5-9
- 11 所莊吉 (1996) 図解古銃事典、点火法の種類、東京:雄山閣、pp14-41
- 12 岩堂憲人 (1995) 世界銃砲史(上)、第7章連発銃と後装銃、燧石にかわるものー雷管の発明とパーカッション・ロケット、東京:国書刊行会、pp393-405
- 13 山田克哉 (2004) 核兵器のしくみ、第6章なぜ太陽は46億年も輝き続けられるのか?水素爆弾のしくみ、講談社現代新書1700、東京:講談社、pp185-222
- 14 T. Giegerich, K. Batters, J.C. Schweitzer, C. Day (2019) Development of a viable route for Lithium-6 supply of DEMO and future fusion power plants, Fusion Engineering and Design 149 (2019), Amsterdam: Elsevier, pp1-10

第6章

- 1 日本鉄道電気技術協会 (2012) き電・変電技術変遷史、東京:日本鉄道電気技術協会、p15
- 2 草野光男 (1955) 水銀整流器、京都:電気書院、pp1-12
- 3 河井貞治、浅野弘、山崎良夫、益富文男、前川愛一 (1957) 单相商用周波交流電気車、日立評論別冊20号、東京:日立評論社、pp4-18
- 4 吉中百合雄 (1972) 各種シャイロコンパスの解説「上巻」、シャイロコンパスの原理、東京:成山堂書店、pp15-19
- 5 海上保安庁交通部 (2018) 海を照らして150年、航海路標識の歴史と現在、p11(パンフレット)、<https://www.kaiho.mli.go.jp/soshiki/koutsuu/kitaku/koutrouyousikipanfu.pdf>
- 6 日本機械学会、機械遺産第83号、榎野埼灯台の光学系機械装置、https://www.jsme.or.jp/kikaisan/heritage_083_jp.html

- 谷内琢也 (1986) 特殊潜水船の最新技術、マリンエンジニアリング(21)2、東京：日本船用機関学会、pp99-104
- 1 オーム社 (2017) 電気の世界ウラ話(第17幕) 電流計ができるまで、OHM104(11)、東京：オーム社、pp43-45
- 3 日置高志 (1936) 電子工学及電子管、第七章 三極瓦斯又は蒸気封入管、東京：尚賢堂、pp106-116
- 真野国夫ほか (1992) リレーハンドブック、第8章リードスイッチとリレー、東京：森北出版、pp213-222
- 誠文堂新光社 (1958) 無線と実験401回路集、53・電光ニュース回路、東京：誠文堂新光社、p27
- 4 明治大正昭和新聞研究会編集制作 (2012) 新聞集成昭和編年史昭和34年版6(自11月ー至12月)、電光ニュースで水銀病・技術者に中毒続出、東京：新聞資料出版、p167
- TBSブリタニカ (1973) 水銀法、ブリタニカ国際大百科事典、小項目事典3、コセーセト、東京：TBSブリタニカ、p744
- 吉沢四郎、竹原善一郎 (1965) 電気化学と水銀、化学20(7)、東京：化学同人、pp11-17
- 慈道裕治 (1986) ソーダ工業と食塩電解法―その構造的・歴史的把握をめぐって―、立命館大学人文科学研究所紀要41、京都：立命館大学人文科学研究所、pp185-215
- 5 テニー・デービス、訳：姉川慎一、細谷文夫 (2006) 火薬と爆薬の化学、IX章 起爆薬、雷管、火管、秦野：東海大学出版会、pp272-278
- 6 小学館 (1985) こもろ病、日本大百科全書2、いーうう、東京：小学館、p612
- 岡橋正三 (1965) 水銀と農業、化学20(7)、東京：化学同人、pp18-22
- 7 岡村秀雄 (2006) 船底防汚剤による海洋汚染と生態系への影響、安全工学45(6)、pp399-407
- Lucie Nicolas-Vuilherme (2017) Vincent Guerre : l'homme qui discute avec les miroirs. Les Carnets de Versailles (ヴェルサイユ宮殿発行のオンライン季刊雑誌)、20 juillet 2017、http://www.lescarnetseversailles.fr/2017/07/vincent-guerre-l'homme-qui-discute-avec-les-miroirs/
- 先田与助 (1971) 日本ガラス鏡工業百年史、第一章大阪ガラス鏡工業の起源と生産のしくみ、大阪：日本
- 8 ガラス鏡工業百年史編集会、pp6-18
- 鎌田弥寿治 (1956) 写真発達史(写真技術講座：別巻)、東京：共立出版、pp1-16
- 9 神立尚紀 (2012) 図解カメラの歴史(ブルーバックスBIT81)、第一章カメラの黎明、東京：講談社、pp17-29
- 赤沢政五郎、内野稔 (1936) アルス電気工学大講座第9巻、火力発電所、東京：アルス、pp7-28
- 夏見寛治 (1924) 電力を二重に発生する水銀ボイラーの画時代的發明、電気：通俗文化雑誌4(3)、東京：家庭と電気社、pp14-17
- 10 荒川裕則 (2001) 色素増感太陽電池の最新技術、第12章マーキエロクロム色素太陽電池の開発、東京：シーエムシー、pp143-150
- 11 竹ヶ原春貴 (2019) イオンエンジン(電気推進)の歴史と今後の将来、航空と宇宙：日本航空宇宙工業会会報788、東京：日本航空宇宙工業会、pp1-7
- 宮澤政文 (2016) 宇宙ロケット工学入門、非化学ロケットの現状、東京：朝倉書店、pp24-25
- 12 Glenn Research Center at Lewis Field. Space electric rocket test I (SERTI). NASA. https://www.grc.nasa.gov/WWW/ion/past/60s/ser1.htm
- 熊谷寛夫 (1983) 真空の物理と応用、第1章真空とは何か、東京：裳華房、pp1-26
- 日本真空学会 (2018) 真空科学ハンドブック、0 真空科学・技術の歴史、東京：コロナ社、pp1-7
- 最新実用真空技術総覧編集委員会 (2019) 最新実用真空技術総覧、第2部真空応用システム、第1編低・中真空の利用、東京：エヌ・ティー・エス、pp457-465

終章

- 1 United Nations (1969) Vienna Convention on the Law of Treaties. https://legal.un.org/ilc/texts/instruments/english/conventions/1_1_1969.pdf